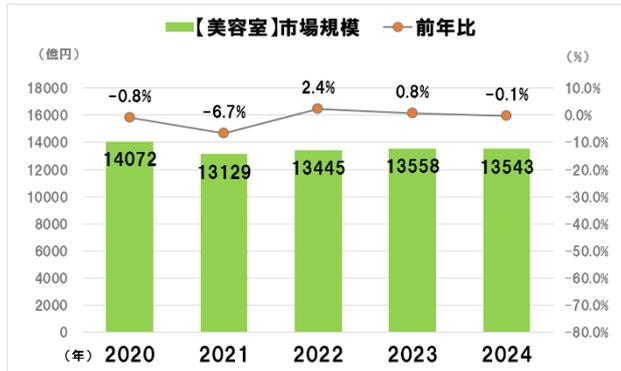


美容センサス 2024 年上期<<美容室・理容室編>>
美容室の市場規模は、1兆3543億円で前年ほぼ横ばい
1回あたりの利用金額は、女性7,482円、男性4,708円で
男女ともに、ここ5年で最高額に

株式会社リクルート（本社：東京都千代田区 代表取締役社長：北村 吉弘）の美容に関する調査研究機関『ホットペッパービューティーアカデミー』（<https://hba.beauty.hotpepper.jp/>）は、全国の人口20万人以上の都市居住者のうち、15～69歳の男女1万3,200人を対象に、過去1年間における美容室・理容室の利用に関する実態調査を実施しましたので、その結果をご報告いたします。

■【美容室】市場規模推計*（消費者ベース）、1回あたり利用金額（美容室利用者／実数回答）

美容センサスから推計した美容室の市場規模は、1兆3543億円で前年比-0.1%とほぼ横ばい。1回あたり利用金額の平均は、男女ともここ5年で最高額に。



*サロン利用率、1回あたり利用金額、年間利用回数と人口推計（総務省統計局）からの推計（P5参照）

- ✓ 1回あたり利用金額が増えた理由の1位は男女とも「メニュー（カット価格など）料金の値上げのため」。他にも「カラーにける金額が増えたため」「トリートメント、ヘッドスパにける金額が増えたため」なども挙がっている。（P2-3）
- ✓ また、男性は「カラー」「パーマ」「トリートメント」などの利用率が、前年から増加しており、利用金額の上昇につながっていると考えられる。（P4）

研究員からのコメント



女性の利用金額が上昇する理由は？ 男性は利用メニューの多様化が進む

美容室では、物価高の前から1回あたりの利用金額は上昇傾向にあり、女性については若年層を中心に、ハイトーンカラーや髪質改善など、高単価メニューが引き続き流行しています。男性は「カット」以外のメニュー利用が増えています。特に「パーマ」は、4年連続でスコアが増加。「カラー」「パーマ」「トリートメント」など男性の美容の選択肢が広がっていることがうかがえます。

（『ホットペッパービューティーアカデミー』研究員 田中 公子）

本件に関する
お問い合わせ先

<https://www.recruit.co.jp/support/form/>

■【美容室】1回あたり利用金額

女性は10,001円以上の高価格帯のシェアがここ4年で年々増加。

男性は6,001円以上のシェアがここ4年で増加傾向。

Q. 美容室を利用の際、1回あたりどのくらいの費用をかけていますか。(美容室利用者/実数回答)

女性		1~ 2,000円	2,001~ 4,000円	4,001~ 6,000円	6,001~ 8,000円	8,001~ 10,000円	10,001円 以上	平均(円)
2024年	(n=5,143)	10.8%	18.9	23.2	11.8	16.1	19.1	7,482
2023年	(n=5,292)	10.9	20.8	22.7	11.3	15.9	18.3	7,293
2022年	(n=5,348)	9.9	20.2	24.6	10.8	16.5	18.0	7,368
2021年	(n=5,369)	10.7	21.2	23.8	12.0	16.7	15.6	7,054
2020年	(n=5,571)	11.6	22.0	23.4	12.3	15.5	15.1	6,881

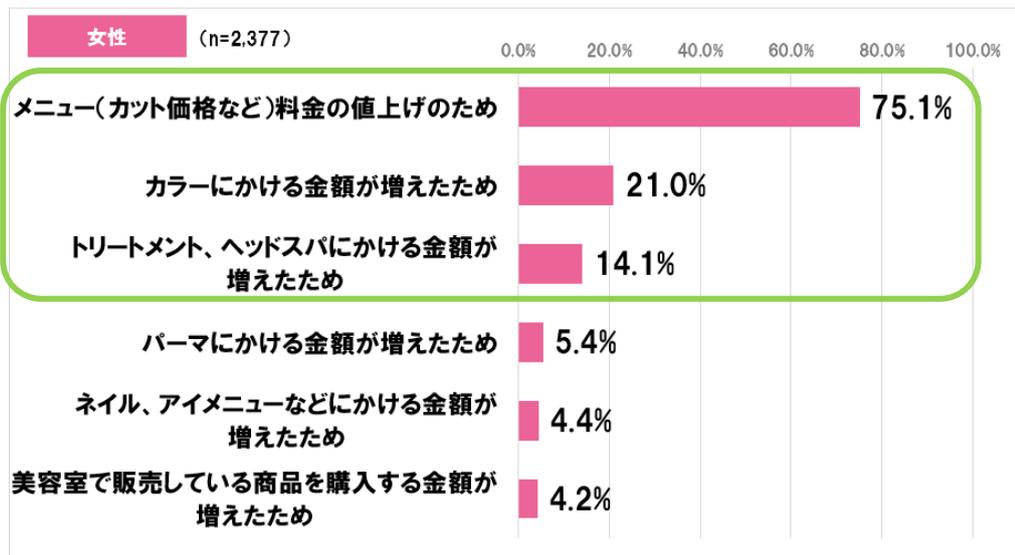
男性		1~ 2,000円	2,001~ 4,000円	4,001~ 6,000円	6,001~ 8,000円	8,001~ 10,000円	10,001円 以上	平均(円)
2024年	(n=2,248)	17.3%	33.9	33.3	5.7	6.1	3.6	4,708
2023年	(n=2,200)	16.6	34.8	33.6	5.7	5.4	3.9	4,680
2022年	(n=2,158)	18.1	37.9	29.0	5.5	5.9	3.6	4,577
2021年	(n=2,202)	18.5	39.9	27.7	5.9	4.8	3.1	4,441
2020年	(n=2,164)	18.8	39.6	29.4	5.4	4.5	2.3	4,277

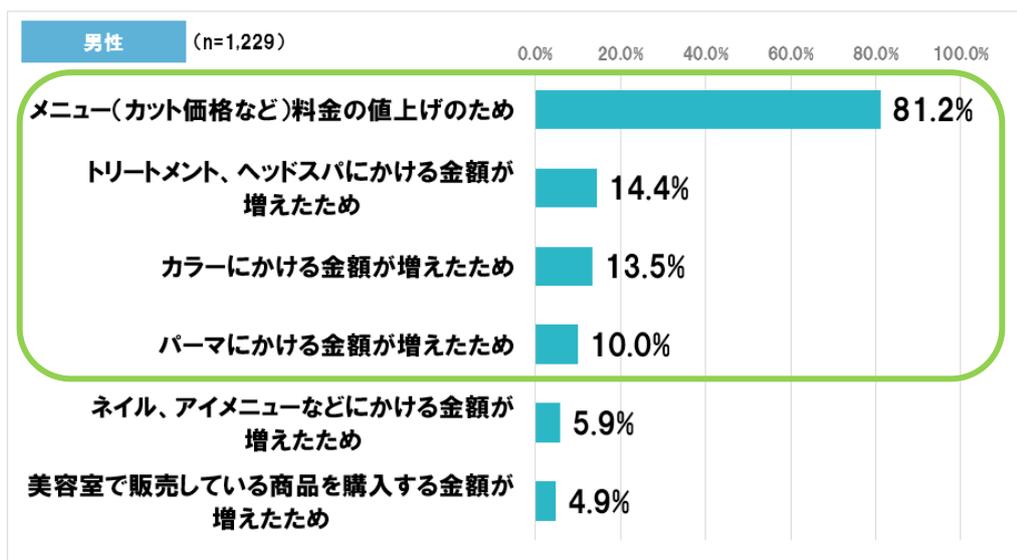
■【美容室】1回あたり利用金額が増えた理由

男女とも「メニュー（カット価格など）料金の値上げのため」が8割前後で最も高い。「カラーにかかる金額が増えたため」「トリートメント、ヘッドスパにかかる金額が増えたため」などの理由の他に、男性では「パーマにかかる金額が増えたため」も1割以上見られる。

Q. 過去1年間、美容室での1回あたりの費用が増えた方は、その理由を教えてください。

(利用金額増加者/複数回答) ※「1回あたりの費用は増えていない」と回答した人を除いて集計





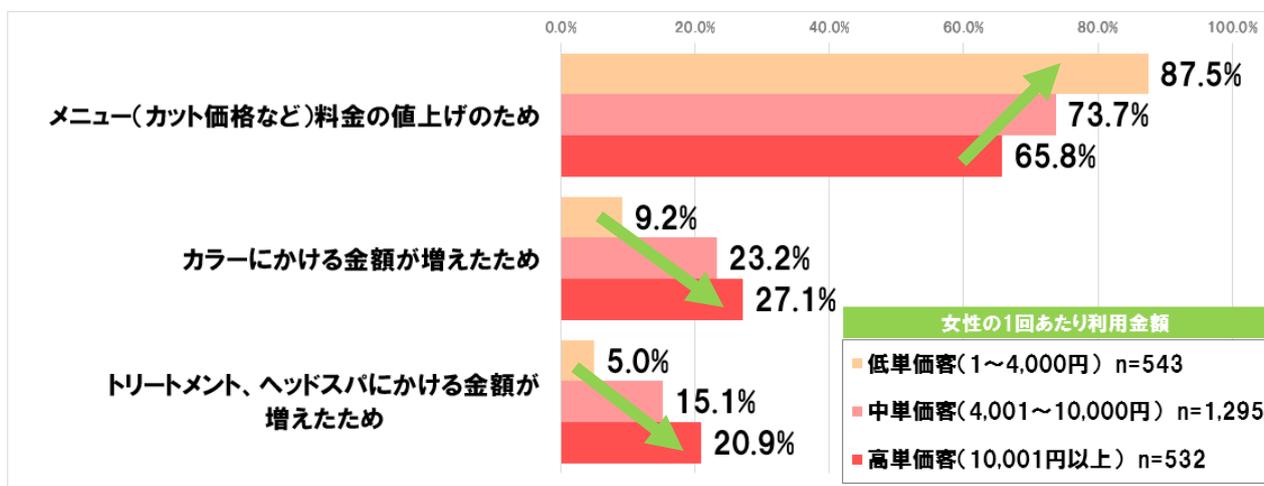
■【美容室】1回あたり利用金額が増えた理由【女性の1回あたり利用金額別】

女性の1回あたり利用金額別では、低単価客ほど料金の値上げの影響が大きく、高単価客ほど「カラーにかかる金額が増えたため」や「トリートメント、ヘッドスパにかかる金額が増えたため」が高い。

Q. 過去1年間、美容室での1回あたりの費用が増えた方は、その理由を教えてください。

(女性全体のトップ3)

(利用金額増加者/複数回答) ※「1回あたりの費用は増えていない」と回答した人を除いて集計



研究員からのコメント

1回あたりの利用金額の増加は、男女とも「値上げ」による影響が大きいものの、「カラー」「トリートメント、ヘッドスパ」「パーマ(男性のみ)」などカット以外のメニューにかかる金額の増加による影響も。また、女性は高単価客ほど「値上げ」理由に挙げた人の割合は低く、中・低単価客に比べて、「カラー」や「トリートメント、ヘッドスパ」の割合が高い傾向にあります。

(『ホットペッパービューティーアカデミー』研究員 田中 公子)

■【美容室】1年以内のメニュー利用率

女性は「縮毛矯正・ストレート」のスコアが3年連続で増加。男性は「カラー」「パーマ」「トリートメント」が前年から2ポイント以上増加。特に「パーマ」は4年連続でスコアが増加。

Q. 過去1年間、あなたは美容室で、以下のメニューをどの程度利用しましたか。

(1回以上の利用者の割合) (美容室利用者/実数回答)

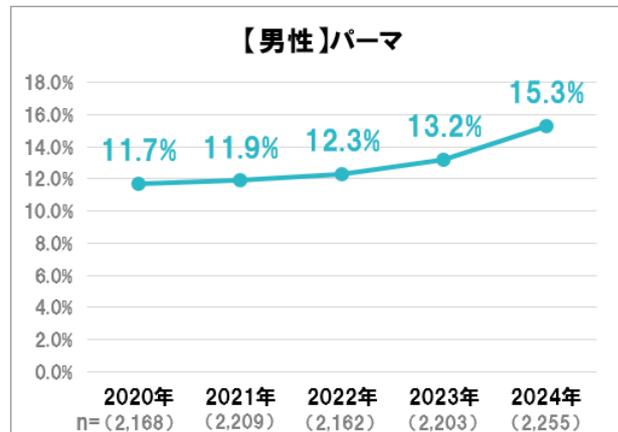
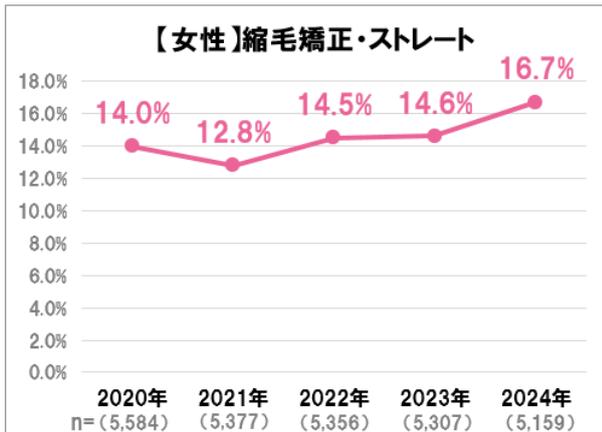
【女性】メニュー利用率 トップ5 (n=5,159)		2024年 (%)	前年差 (pt)
1位	カット※	96.5	-0.4
2位	カラー※	51.2	-1.1
3位	トリートメント	32.4	-1.0
4位	縮毛矯正・ストレート	16.7	2.1
5位	ヘッドスパ	11.5	-0.1

【男性】メニュー利用率 トップ5 (n=2,255)		2024年 (%)	前年差 (pt)
1位	カット※	97.0	-0.8
2位	カラー※	19.6	2.2
3位	パーマ	15.3	2.1
4位	トリートメント	15.1	3.0
5位	眉カット	14.7	1.4

※ 「カット」は「カット」「前髪カット」の合算

※ 「カラー」は「カラー (フルカラー)」「カラー (リタッチ)」の合算

<時系列推移>メニュー抜粋



研究員からのコメント

女性のメニュー利用率は前年から横ばいのもので、縮毛矯正・ストレートが3年連続で増加しています。SNS等でロングヘアがサラサラとなびく「バックショット」の写真や動画が流行しており、ストレートヘアへの憧れが背景にあるのかもしれませんが。また40代以上のオトナ女性は、加齢による髪のうねりや癖を直したいというニーズもあるでしょう。

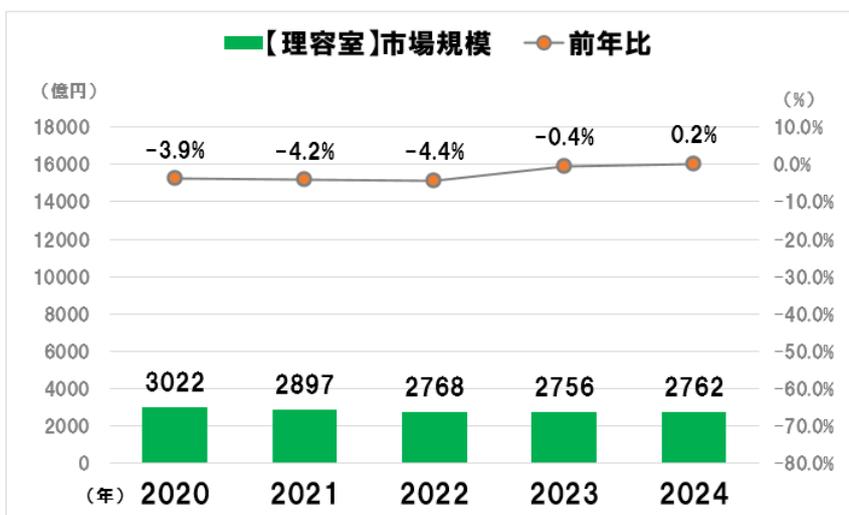
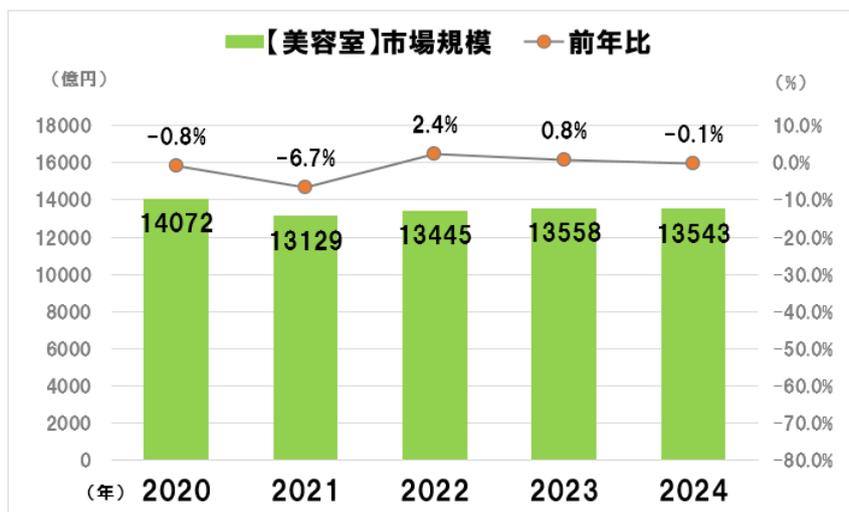
男性は、「パーマ」の利用率が2024年も増加しています。パーマはおしゃれ目的のみならず、「髪のボリューム」や「髪がうまくまとまらない」といった悩みの解消にもつながります。サロンでは、若年層にはデザイン性の高いパーマスタイル、社会人には身だしなみを整えるために利用できるナチュラルなパーマスタイルなどが提案されていると考えられます。

(『ホットペッパービューティーアカデミー』研究員 田中 公子)

■【美容室・理容室】市場規模推計※（消費者ベース）

美容センサスから推計した美容室の市場規模は、1兆3543億円（前年比0.1%減）で2022年からほぼ横ばいとなっている。理容室の市場規模は、2762億円（前年比0.2%増）で2022年から大きな変化は見られない。

（P1 再掲）



※サロン利用率、1回あたり利用金額、年間利用回数と人口推計（総務省統計局）からの推計

【市場規模推計 算出の方法】

男女各年代の市場規模推計の合算値（15～69歳・男女合計）

市場規模推計（円）

= 人口（人）^{※1} × 1年以内のサロン利用率（%）^{※2} × 1回あたり利用金額平均（円）^{※3} × 年間利用回数平均（回）^{※4}

※1 人口データは人口推計（総務省統計局）を使用。年齢（5歳階級）、男女別人口—総人口（各年10月1日時点）。

調査年の前年10月1日時点の人口を使用。

※2※3※4 ホットペッパービューティーアカデミー「美容センサス2024年上期《美容室編》資料編」、「美容センサス2024年上期《理容室編》資料編」より使用。

■調査概要

調査名：「美容センサス 2024 年上期〈美容室・理容室編〉」

調査手法：インターネットリサーチ

調査期間：2024 年 2 月 1 日（木）～2 月 12 日（月）

調査対象：全国、人口 20 万人以上の都市に居住する 15～69 歳の男女各 6,600 人

※図表内の%の値は小数第 2 位を四捨五入しているため、差分や合計値において、単純計算した数値と合致しない場合があります。

※実数回答設問では、想定範囲から外れた値を「外れ値」として除外して集計しているため、記載している n 数と算出に用いた基数が異なる場合があります。

【人口統計比率に合わせた集計（ウェイトバック集計）】について

今回より人口統計比率に合わせた集計（ウェイトバック集計）に変更しています。（2020 年～2023 年のデータも再集計）

詳細は「美容センサス 2024 年上期〈美容室・理容室編〉報告書」をご参照ください。

■『ホットペッパービューティーアカデミー』とは

美容に関する調査研究機関。「美容の未来のために、学びと調査・研究を」をビジョンに 2014 年に開校しました。美容サロンのマネジメントやマーケティングを学ぶ「経営セミナー」、美容センサスなどの「調査研究」、訪問美容・女性活躍・SDGs などの情報提供・イベント開催などをはじめとした「サステナビリティ活動」を柱に、全て無料で美容業界へ情報発信しています。これらの活動により、美容業界の成長に寄与する場の提供を目指しています。

リクルートグループについて

1960年の創業以来、リクルートグループは、就職・結婚・進学・住宅・自動車・旅行・飲食・美容などの領域において、一人ひとりのライフスタイルに応じたより最適な選択肢を提供してきました。現在、HRテクノロジー、マッチング&ソリューション、人材派遣の3事業を軸に、60を超える国・地域で事業を展開しています。リクルートグループは、新しい価値の創造を通じ、社会からの期待に応え、一人ひとりが輝く豊かな世界の実現に向けて、より多くの『まだ、ここにはない、出会い。』を提供していきます。

詳しくはこちらをご覧ください。

リクルートグループ：<https://recruit-holdings.com/ja/> リクルート：<https://www.recruit.co.jp/>